

市制施行50周年記念事業のご紹介

～11月1日に50周年を迎える多摩市。市民と行政が一体となって、記念事業を実施し、「ふるさと多摩」への愛着を深める機会とします。～

概要

市制施行50周年にあたる今年の11月から様々な記念事業を実施します。過去のタイムカプセルの開封、そして新たなタイムカプセルの埋設や、記念ビールの作成、YouTubeを活用した多摩市50周年物語、市民の方々が実施する21もの市民企画事業（令和3年度10月13日時点）、36の市の主催事業、そして地域のこれまでのあゆみを振り返った記念誌を発行していきます。

1 40年前に埋めたタイムカプセルの発掘と30年後に開封するタイムカプセルの埋設

昭和56年11月3日、市制施行10周年の記念事業の一環として、永山北公園にタイムカプセルを埋設しました。このタイムカプセルを、市制施行50周年にあたる今年の11月に記念事業の一環として掘り起こし、新たなタイムカプセルを埋設します。

日時：令和3年11月3日（水）（文化の日） 14時から

場所：永山北公園 タイムカプセルの杜（多摩市永山二丁目五番地）



40年前の式典の様子



新たなタイムカプセル

2 市民による50周年記念ビールの作成

50周年を記念して、市民事業実行委員会の企画により、市内の事業者の協力のもと、多摩市オリジナルビールを作成しました。

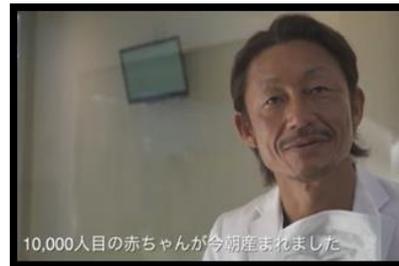


TAMA BASE BEER（ラベルデザイン）

3 多摩市50周年物語

「市制施行50周年記念市民事業特別企画」として、これまでの50年のまちの歴史のなかで紡がれてきた多彩な市民のドラマの記録「多摩市50周年物語～ボクとワタシのTama Story～」を制作し、YouTubeで順次公開中です。

(https://m.youtube.com/playlist?list=PLcp9v3izBVXjU_gUhNCenTofXKhS_Y5np)



4 市民企画事業

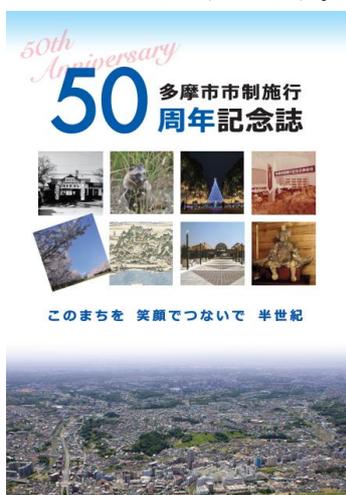
市内で日ごろから行われている、または50周年を機に催される行事やイベントで「50周年記念事業」となるものを募集し、市民企画事業として位置づけ、まち全体で50周年をお祝いします。(別紙1参照)

5 市の主催事業

愛着の醸成、交流の深化、魅力発信、子どもたちの夢や希望につながる36事業を実施する予定です。(別紙2参照)

5 記念誌

地域のこれまでのあゆみを振り返るとともに、現在の多摩市の姿を描き、地域への誇りや親しみを育む「多摩市市制施行50周年記念誌」を12月1日に刊行予定です。記念誌は、デジタルアーカイブでも公開します。



表紙



背表紙



裏表紙